

2023年度「自己評価結果報告書」

当園ではこの度、2023年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

カトリックの精神に基づきながら、子ども達に暖かい雰囲気と良い環境を整え、時代に適した保育を行いたいと考えています。

その為に常に家庭、特に母親との連絡を密にし、神様を愛し、他人をも愛する事の出来る心を養い、自立心や正しい躰を身につけさせたいと願っています。

又、自然とふれあう機会を持つことによって、全てのものが持つ命の大切さを教えると共に、情操教育に重点を置き、遊びの中から明るく素直な、思いやりのある幼児に育てることを目的にしています。

II. 今年度の重点目標

- 教育内容の見直し・質の向上
- 安全・衛生危機管理の充実
- 教職員間の連携の充実
- 自己管理
- カトリックの幼稚園として
- 保護者との連携・対応

III. 評価項目と取組み状況

重点課題		評価項目	具体的に取組めたこと	
1	教育内容の見直し 質の向上	<ul style="list-style-type: none">• 全ての行事を必ずゼロから考える。• 前年度の新しい発見を大切にす	A	コロナによる規制が緩和され、様々な活動が再開し運動会、クリスマス会をはじめとする行事も3学年合同で行うことが出来た。 コロナ禍の経験を踏まえ、保育のあり方、行事の目的等をしっかりと議論し進めることが出来た。
2	安全・衛生 危機管理の充実	<ul style="list-style-type: none">• 感染症対策にきちんと防災訓練も加えていく。	A-	地域の防災活動などをタイムリーに情報収集し、対策を職員同士で共有し、日常保育に訓練を取り入れた（月1回程度）。保護者の方ご協力のもと、引き取り訓練も実施。 子ども達の感染対策も習慣化され様々な感染症の予防に繋がった。
3	教職員間の連携 の充実	<ul style="list-style-type: none">• 学年のみならず、特に行事の時などは学年の枠を超えて全体を見る事が出来る目をひとりひとり養う。• 職員の分担（まめーる他、パソコン関係、緊急事態の対応等）をし、「2人以上体制」を充実させ、強力な対応能力を養う。	A-	保育活動の中で、学年の枠を超えて子どもを見る事が増えた。行事等は、工程表（役割や子どもの情報など）を作成する事で、誰もが理解し円滑に動けた。 全体的には仕事を意識的に2人以上体制にする事が常習化しつつある、仕事の効率が上がった。（新任の職員も仕事に取り組みやすくなった）

2023年度「自己評価結果報告書」

重点課題		評価項目	具体的に取り組めたこと	
4	自己管理	<ul style="list-style-type: none"> ひとりひとりがプロ意識をもち、仕事に挑む。 	A-	各自、研修会に参加し、学んできた事を共有し保育に取り入れた。又、それぞれの職員が得意分野で力を発揮することで、保育の向上に繋がった。休暇や有給休暇について、今まで以上に意識し、体調管理についても各自努力した。
5	カトリックの幼稚園として	<ul style="list-style-type: none"> 神父様またはシスターのご来園を願う。 もっともっと神様の温かい話をしていきたい。 	A-	神父様に年間を通してご来園いただき、子ども達の宗教講話が習慣化し、とても有意義な時間を持てた。七五三のお祝いを、他園と合同で教会で行うことが出来た。日常の保育の中で、カトリック教育に繋がる話をする事が出来た。
6	保護者との連携・対応	<ul style="list-style-type: none"> これからも、ただ話してだけでなく、文章として渡していくことも続けたい。 心配そうな方、困っている方をすぐに探し、話が聞ける体制を心していきたい。 	A-	園長面談や担任への相談を、いつでも受け付ける体制にしたことで、時期を選ばず話をする事が出来た。保護者が感じている心配事を職員間で共有し、個々の子どもとの関わりに役立てている。HPを活用して、子ども達の生活や行事の様子を発信することが出来た。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	教育内容の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 保育内容、各種行事等を抜本的に見直し、園全体で新たな視点で考えていく。 子どもの自主性を伸ばすことができるような、子ども中心の保育を目指す。
2	安全・衛生 危機管理の充実	<ul style="list-style-type: none"> 様々な災害を想定して、訓練を充実させる。 緊急時対応マニュアルの理解を職員全員で深める。 感染症対策を引き続き行い、希薄にならないようにする。
3	教職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> 仕事内容を全員で共有できるようにファイルを作成し、閲覧できる環境を作る。
4	自己管理	<ul style="list-style-type: none"> 各自、時間の管理に対する意識を持ち、先を見通して無理のない仕事ができるよう徹底する。
5	カトリックの幼稚園として	<ul style="list-style-type: none"> 神父様の宗教講話の継続をお願いし、充実を図る。 教職員からそれぞれに「共にいる神さま」を日々発信する。
6	保護者との 連携・対応	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対するきめ細かなコミュニケーションをとれるよう努める。 保護者からの要望や意見に対して、公平かつ迅速な対応を心掛ける。 予定表や行事の詳細等はできる限り早く伝える。

V. 学校関係者の評価

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類になると同時に、日頃の感染症対策へ細心の注意を払いつつ、季節行事など全学年が共に活動できる場や数年見送られてきた行事も再開するなど、幼稚園生活において重要な学びの場を第一に考え保育をしてくださいました。コロナ禍前の環境に戻る事で、子どもたちは笑顔で過ごすことが出来、保護者も安心して子どもの成長を見守ることができ、幼稚園の保育に対する運営方針に大変感謝しております。

また、昨年に続き、全学年の希望保護者を対象に、園長先生による面談の場を設けて下さり、保護者が持つ日頃の子育ての悩みや、子どもの成長についてご相談が出来、保護者にとって大変有難い機会でした。その他、希望者に対する降園後の園庭開放や英語・ピアノの課外おけいこを設定下さり、親子で大変有意義な時間を過ごすことが出来、有難く存じます。特に園庭開放は、通常の公園と異なり、周囲の車や自転車など安全面を心配することのない幼稚園という場所である事から、我が子をのびのびと遊ばせる事が出来、保護者としても安心して見守る事が出来ました。今後もこのような場を提供していただけると幸いです。園生活を通じて、子どもが明るく素直で伸びやかに成長できます環境を整えて下さり、保護者一同感謝しております。

学校評価委員 井垣理那

学校評価委員 籠島有加

学校評価委員 神谷悠加

学校評価委員 武永奈美